



Science Cafe 2025



サイエンスカフェ

第1回 「津波の痕跡を探る」

7月12日 土

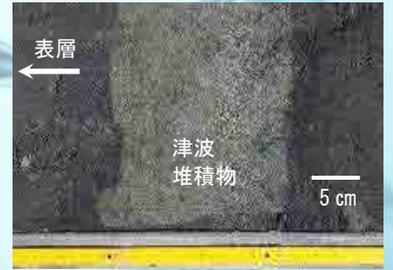
わたなべ たかひろ

渡邊 隆広

年代測定技術開発グループ
研究副主幹・博士（理学）



過去の地震により発生した津波によって、海から砂や泥が陸に運ばれ、地層中に津波堆積物として長い時間保存されることがあります。保存された津波堆積物は、過去の地震と津波が発生した時期やその大きさを推定する重要な手がかりとなります。過去の津波堆積物を検出する化学的な手法や実際の調査事例について紹介します。



約千年前の津波堆積物
(宮城県仙台市)

第2回 「サンゴに記録された人類の核活動」

8月2日 土

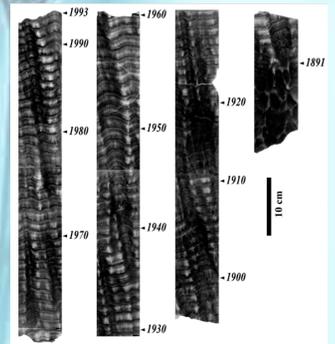
みつぐち たけひろ

三ツ口 丈裕

ネオテクトニクス研究グループ
博士（理学）



熱帯・亜熱帯の海には様々なサンゴが生息していますが、その中には年輪を刻みながら数十年～数百年も成長するものがあります。このサンゴ年輪の化学成分を調べると、過去～現在の海の環境変化や、1945年以降の人類の核活動（核兵器使用、核実験、核燃料再処理）の影響を知ることができます。



沖縄県・石垣島のサンゴの年輪
(西暦1891年～1993年)

参加申込方法 オンライン同時開催 (事前申込み制)

開催時間 10:00～11:15 (各回とも)

①会場参加 (定員30名 先着順)

②オンライン参加

電話またはホームページにて申してください

会場案内 瑞浪地科学研究所
(瑞浪市明世町山野内1-63)

☎ 0572-53-0211 (平日9:00～16:00受付)

東濃地科学センター 総務・共生課まで

〈ホームページからの申込〉

<https://forms.office.com/r/XbUDJhvCsR?origin=lpLink>

上記アドレスまたはQRコードを読み、表示された申込フォームにしたがって希望回、氏名、メールアドレスを記載の上ご送信ください。

